



こまくさ

令和3年
12月23日(木)
No.34

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしく! たくましく!~

今年度最後の計画訪問（算数）終了

学校では秋田県教育庁及び仙北市教育委員会から指導主事をお招きし、教科や領域における授業を提示し、その授業についての具体的な指導を受ける「計画訪問」を実施することになっていきます。今年度は4回実施することが決まっておりました。これまで音楽、生徒指導、国語の計画訪問を実施してきましたが、12月16日（木）は、今年度最後の計画訪問（算数）となり、次のように行われました。

本校では研究の主題を「自分の考えをもち、進んで学びを深めようとする子どもの育成」として、対話を通して、伝える力や考える力を高め合う授業づくりを目指しています。算数の時間においても、自らの考えをもった上で、グループや全体での学び合いを通して数学的な見方や考え方、また学ぶ楽しさを育む授業づくりについて研究しています。自分で気づいたり考えたりしたことを、算数の場合は言葉・式・図などで表し、それを相手に伝え、新たな学びにつなげていくことの大切さを意識して指導することで、授業改善につながる職員研修を継続してまいります。

【指導者：秋田県教育庁 南教育事務所 仙北出張所 小田長 指導主事
仙北市教育委員会 学校教育課 北浦教育文化研究所 武藤 指導主事】



- 【3年生】…3校時
- 単元名 重さをはかって表そう
- ねらい 任意単位を用いて身の回りのものの重さを数値化して比較する方法を考え、説明することができる。

○本時の授業内容
天秤を使ってものの重さ比べをした経験から、重さを数で表す方法を考えました。「○○をいくつ分」と言えるように、クリップ、一円玉、おはじきなどを使って表す活動を行いました。その結果、いくつ分とうまく表せることがわかり、「同じものを使ってはかること」、「ちょう

どよくはかるためには、小さいものの方がはかりやすいこと」などに気付き、そのことを「同じ重さのものが何個あるかを調べると、数で表すことができる」とまとめました。



- 【5年生】…4校時
- 単元名 面積の求め方を考えよう（四角形と三角形の面積）
- ねらい 台形の面積の求め方を考え、既に学習した図形の求め方を使って説明することができる。

○本時の授業内容
台形の面積を求めるために、はじめに今まで学習をした三角形や平行四辺形、長方形、正方形などの求め方を使うことができないかを考えました。台形を「分ける」「付け足す」「切って付け足す」などの方法を使うと求められそうと言う見通しをたて、既に求め方を知っている図形に形を変えることで、台形の面積を求めるこ

とができました。様々な求め方が見付き、それぞれの考え方の違いや共通するところなどについて意見を交換しました。

【指導主事より】

- ねらいに達成した子どもの姿を具体的にもつことが大切
 - 教師の発話量を減らし、子どもに多く話させることが大事
 - つなずきやつぶやきも「対話」の1つ、子どもの反応や表情をよく見取ることも大切
- 以上のようなご指導をしていただきました。

芸術体験 ソーラン節を踊りました！！



元気っぱいの先生の姿に子どもたちも応えました

12月22日(水)に、芸術体験として「ソーラン節」の踊りを体験しました。芸術体験・鑑賞の分野を交互に実施し、今年度は順番からすると観劇をすべく、この日は「わらび座」の先生にお願いし、今年の実施に際しては、先生から「わらび座」の踊りについて、準備運動として、鉢巻きなどを結ぶ動きや、ジャンプしたり、大きく手をたたきながら、「大きな樽が転がってきてジャンプ！」「ホッチキスの形になるよ！」など、わかりやすい”たとえ”を使って教えてくれました。40分くらい練習をし、曲の終わりまでの踊りを覚えました。最後は音楽に合わせてみんなで楽しく踊り、とても盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。体育館は少し寒かったのですが、終わる頃にはたくさん汗をかいている子どももいました。指導してくれた齋藤さんは、「生保内小学校の子どもたちはとても素直で、一生懸命踊ってくれるので、教えていても楽しかったです」と話してくれました。



大きな動作で踊る1～3年生



感想発表をした
2年 T.Mさん



練習しているうちに動きがそろってきた4～6年生

5年生 アグリスクールで「だまこ鍋」づくり

以前の学校報でもお知らせしましたが、5年生は田植え、稲刈り等の体験をして米作りの学習をしています。今年度は、JAあきたおばこ様の「おばこアグリスクール」の実施校として指定を受けたことから、「収穫したお米で料理教室」を開催することになりました。23日(木)は、JAあきたおばこ様から2名、田沢湖加工グループ様から3名の方々に来ていただき、今年の秋に収穫したお米でだまこ汁作りを指導してもらいました。

はじめに、鍋に入れる野菜や肉、こんにゃくなどを切りました。次にお米を”半殺し”にしてだまこを作りました。ボールの中に入れてお米を半分だけつぶしますが、結構力が入るみたいで、交代しながら協力して作りました。いよいよこの体験のメインである、つぶりに近いくらい大きなお米がたくさんできあがっていきましました。さすがに汁に入れるのは大変そうだったので、これも協力して小さいサイズに作りなおしました。できあがっただまこは、フライパンで少し焼き目を付けて完成です。盛り付けをしたら素晴らしいできばえに、5年生児童は満足していたようでした。

食事の時間になると、田沢湖加工グループの方々から”あさづけ”のプレゼントがありました。米粉でつくった汁にミカンやキウイ、リンゴなどが入ったデザートでした。初めて食べる味に「おいしい」という声が聞こえてきました。



食べ終えた児童から、「みんなで作るのが楽しかった」「とてもおいしいだまこ汁ができてよかった」などの感想を発表してもらいました。

最後にアグリスクールの修了証を田T.Kさんが代表でいただきました。これで、「農業と食」に関する学習が全て終わりました。5年生の子どもたちにとってはとても有意義な活動となりました。

